

昭和44年度下半期

豊島区公告第23号

東京都豊島区財政状況の公表に関する条例の定めるところにより本区財政状況を次のとおり公表いたします。

昭和45年6月19日

東京都豊島区長 木村秀崇

豊島区財政状況のあらまし

本区の財政状況につきましては、毎年2回にわたり区民のみなさんに公表しております。今回は昭和44年10月1日より昭和45年3月末日にいたる本区の財政状況と昭和45年度歳入歳出予算についてその概要をお知らせいたします。

1. 昭和44年度予算の概要

前回の公表でもお知らせいたしましたように、区民のみなさんの健康と安全の確保を目標とし、昭和44年10月1日以後一般会計において3回、特別会計において1回の補正予算を右表のように計上いたしました。

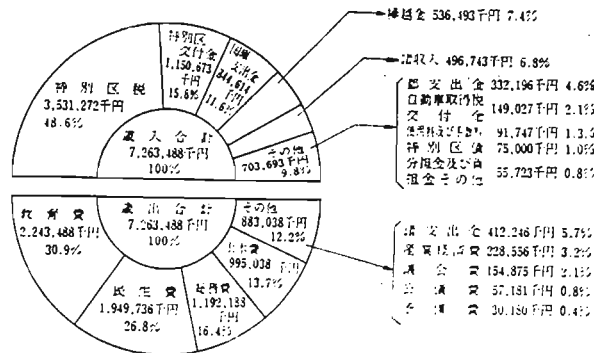
会計区分	前回までの公表額	補正予算(3・4・5号)	最終予算額
一般会計	7,027,214千円	236,274千円	7,263,488千円
公益質屋事業会計	37,073	—	37,073
国民健康保険事業会計	1,507,613	11,091	1,518,704
合計	8,571,900	247,365	8,819,265

次に補正予算の主な内容をご説明いたします。

(1) 一般会計

- ・補正3号 (昭和44年12月5日議決) 46,383千円
  - 児童手当制度施行経費 23,811千円
  - 公共溝渠整備経費 2,140千円
  - 校庭開放事業施設整備費 3,800千円
  - その他経費 16,632千円
- ・補正4号 (昭和44年12月5日議決) 13,226千円
  - 衆議院議員選挙及び最高裁裁判官国民審査執行経費 13,226千円
- ・補正5号 (昭和45年3月24日議決) 176,665千円
  - 給与改定に伴う職員関係費 156,234千円
  - その他経費 20,431千円

昭和44年度一般会計

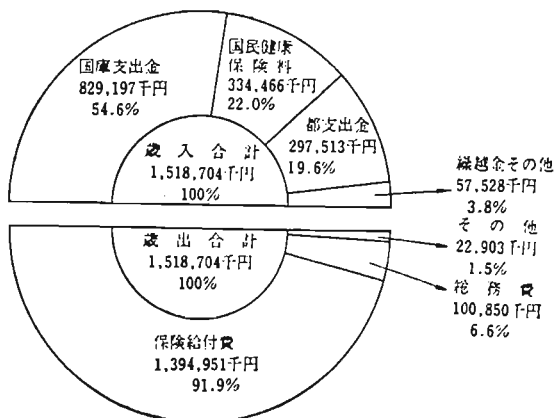


(2) 特別会計

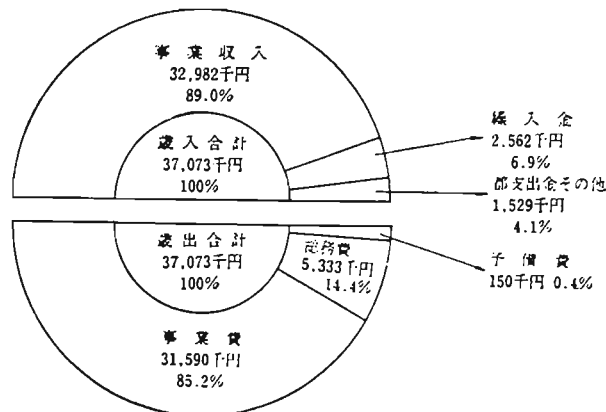
- ・補正2号 (昭和45年3月24日議決) 11,091千円
  - 給与改定に伴う職員関係費 7,600千円
  - 医療費改定に基づく療養給付費補正額等 3,491千円

下半期における補正予算の概要は以上のとおりですが、昭和44年度の会計別最終予算の構成比をグラフで示しますと次のとおりです。

昭和44年度国民健康保険事業会計



昭和44年度公益質屋事業会計



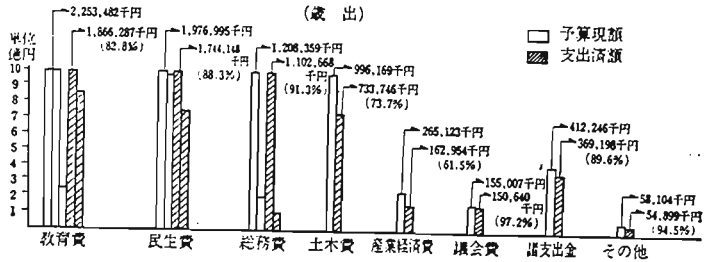
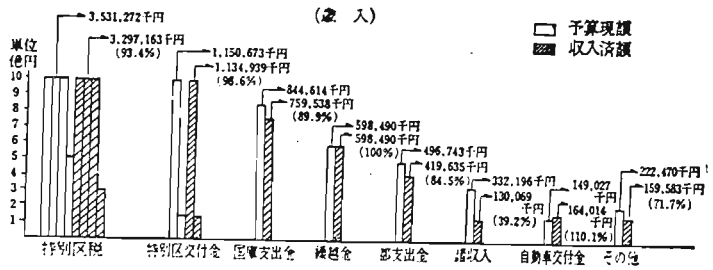
2. 収入支出の状況

昭和44年度一般会計予算執行状況

(1) 一般会計

歳入では予算現額73億2,548万5千円に対し、収入済額は66億6,343万1千円で91%の収入率となっており、そのうち特別区税は32億9,716万3千円の収入で93.4%の収入率を示しております。

また歳出では予算現額73億2,548万5千円に対し、支出済額は61億8,454万円となっており、84.4%の執行率を示しております。



(2) 特別会計

特別会計とは、特定の事業を行うものについて、一般会計と区分して経理する必要がある場合に、法律または条例に基づいて設けられるもので、本区においては公益質屋事業会計と国民健康保険事業会計の2つが設定されております。

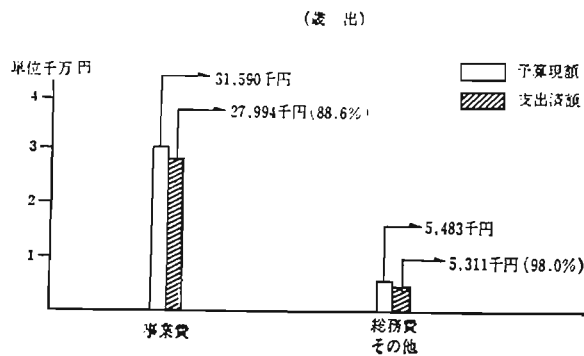
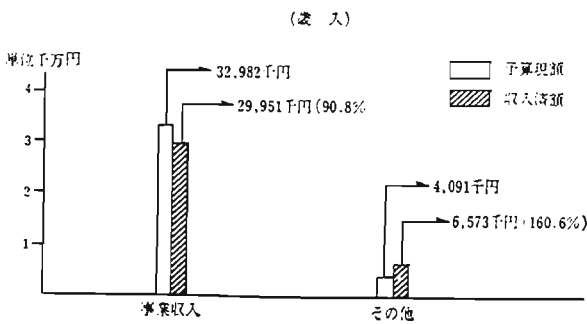
まず公益質屋事業会計の歳入では予算現額3,707万3千円に対し収入済額3,652万4千円で98.5%の収入率を示しており歳出では予算現額3,707万3千円に対し支出済額3,330万5千円で90%の執行率となっております。

また国民健康保険事業会計の歳入では予算現額15億1,870万4千円に対し収入済額14億194万9千円で92.3%の収入率を示しており歳出では予算現額15億1,870万4千円に対し支出済額12億2,845万1千円で80.9%の執行率となっております。

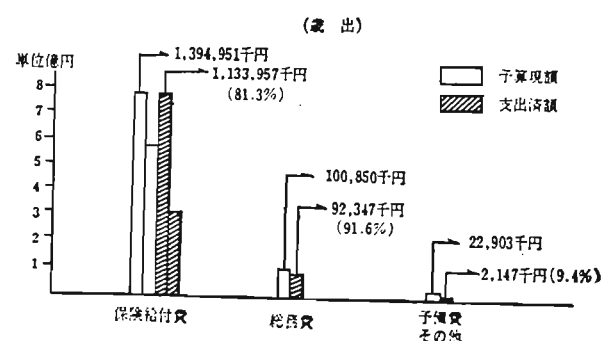
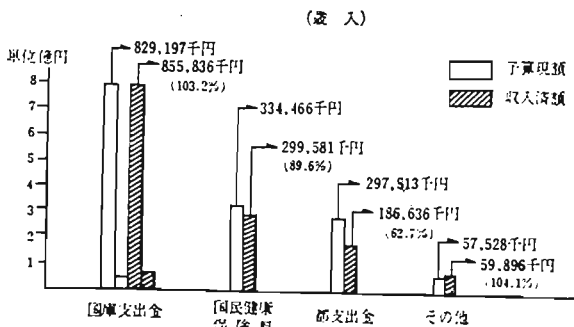
なお、これら収入支出の状況は昭和45年3月末日現在でまとめているので5月末日の出納閉鎖期までには収入、支出ともかなりの伸びが予想されます。

また昭和44年度下半期における収入・支出の状況をグラフで示しますと次のようになります。

昭和44年度公益質屋事業会計予算執行状況



昭和44年度国民健康保険事業会計予算執行状況



### 3. 区民負担の状況

区民のみなさんが直接負担されます特別区税は昭和

45年3月末日現在33億9,976万1千円となっており、これによりますと区民1人当たり及び1世帯当りの負担額は次表のとおりです。

年 度	区税現年度測定額 千円	人 口 人	世 帯 世帯	1人当り負担額 円	1世帯当り負担額 円
44年度	3,741,295	332,061	137,025	11,267	27,304
43年度	3,305,024	336,919	137,242	9,810	24,082
増(△)減	436,271	△4,858	△217	1,457	3,222

### 4. 一時借入金の状況

一時借入金とは、一会計年度中に一時的に現金が不足することがあります。これを補うため実際の現金収入があるまで一時的な資金として市中銀行などから短期間借り入れ、収支の均衡を保つための資金のことです。なお議決された借入金の限度額は3億円でしたが、本区は幸いにして44年度は収支の状況がよかったので一時借入金はありませんでした。

### 5. 区有財産の状況

区は、事務事業を執行したり、区民の利用に供するため、総合庁舎、図書館、公園、区民センター・教育施設等いろいろな財産を有しています。昭和45年3月末日における区有財産の現在高は次のとおりです。

種 類	数 量	価 格	摘 要
土 地	444,766.71㎡	5,631,687千円	庁舎、学校、公園等の敷地
建 物	239,611.78㎡	5,456,729	庁舎、学校、公会堂、区民施設等
工 作 物	1,669件	775,996	街 路 灯 等
物 品	268,421点	1,489,927	自動車、事務用器具等
基 金		40,100	庁舎整備積立金等
有 価 証 券	369枚	11,959	株式、電話債権等
地 上 権 等		1,497	地 上 権
計		13,407,895	

### 6. 特別区債の状況

特別区債とは、多額の財源を必要とする児童公園や保育所、または学

校等建設事業に充てるため、政府や銀行などから資金を借り入れ、長期間にわたって返済する制度のことです。

昭和45年3月末日における特別区債の現在高は次表のとおりです。

発行年月日	起 債 の 目 的	資 金 区 分	起 債 現 在 高	利 率
41. 5. 17	体育館建設用地買収	市中銀行	56,000千円	年 7.3%
" 11. 30	体育館建設	政府債	13,662	6.5%
42. 5. 17	児童遊園用地買収	市中銀行	63,000	7.3%
" 7. 31	体育館建設	政府債	59,699	6.5%
43. 4. 17	学校用地買収	市中銀行	47,000	7.3%
"	図書館建設	"	50,000	"
"	保育所用地買収	"	42,000	"
44. 3. 20	児童公園	生命保険積立金	45,000	7.0%
44. 4. 17	児童遊園	市中銀行	30,000	7.3%
合 計			406,361	

## 7. 昭和45年度予算の概要

### (1) 一般会計（補正1号予算含む）

本年度の予算編成にあたっては「区民の幸せづくり」を目標とし、◇青少年の健全育成のための施策 ◇区民生活福祉向上のための施策 ◇健康な街づくりのための施策、以上の三本柱を重点施策に、区民のみなさんの要望を充

#### ◇青少年の健全育成のための施策

- 小学校校庭の高度利用……………16,490千円
- 中学校施設のスポーツ開放……………2,810千円
- 総合体育場の夜間開放……………1,750千円
- 体育関係諸行事の拡大……………8,600千円
- 児童遊園の新設（2カ所）……………81,900千円
- 谷端川遊歩道の設置……………6,180千円
- 野外バレーボール場の設置……………1,000千円
- 勤労青少年センターの開設……………30,220千円
- 児童館の新設……………32,590千円
- 図書館の新設……………95,360千円

#### ◇区民生活福祉向上のための施策

- 老人福祉センターの新設……………188,890千円
- 老人クラブへの助成増……………3,470千円
- 精薄者福祉作業所の新設……………4,430千円
- 保育所の新設（2カ所）……………262,480千円
- 零歳児保育の拡充……………30,810千円
- 公私立保育所給食加算……………5,094千円

以上が一般会計の概要ですが、これを表にしますと次のようになります。

- 私立保育所の助成……………6,130千円
- 児童手当制度の普及……………105,050千円
- 法外援護の拡大……………11,840千円
- 社会福祉協議会補助……………4,110千円
- 応急小口資金の増額……………3,000千円
- 生業資金の増額……………23,000千円
- 成人病（ガン）対策の推進……………4,540千円
- 出張所会議室の区民開放（5カ所）……………2,550千円

#### ◇健康な街づくりのための施策

- 交通安全対策の増強……………28,760千円
- 公害対策の拡大……………1,770千円
- 道路新設改良の推進……………203,020千円
- 街路照明の補強……………27,820千円
- 防災対策の強化……………1,490千円
- 消防団運営費の拡充……………4,040千円
- ブロック商店街診断……………1,540千円
- 商工業振興助成……………2,070千円
- 商工融資の増額……………140,810千円

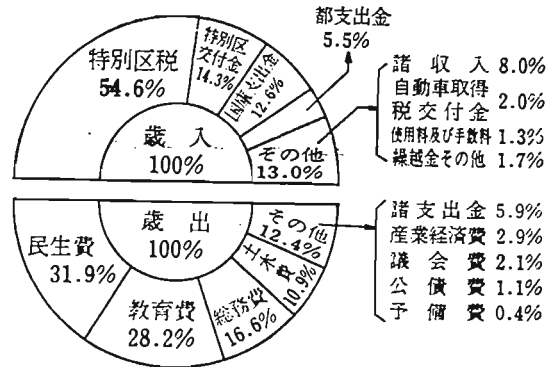
すべく編成いたしました。

このような方針に基づき編成しました当初予算と補正1号予算の合算額は74億8,688万3千円となり、昨年同期と比較しますと9億6,278万9千円の増、14.8%の伸率となっています。

次の三本の柱を中心とした主な内容をご説明いたします。

#### ◇その他の主要事業

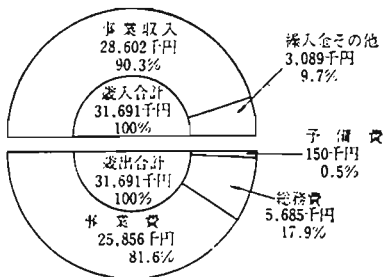
- 広域行政の拡充……………18,260千円
- 庁舎整備積立金……………50,000千円
- 小中学校校舎改築（55教室）……………402,360千円
- 中学校完全給食施設の建設……………28,710千円
- 学校施設整備の推進……………133,210千円
- 幼稚園の開設……………6,430千円



昭和45年度一般会計予算前年度比較表

次	45年度		44年度		比較	
	千円	%	千円	%	増(△)減(千円)	伸率(%)
特別区税	4,085,169	54.6	3,547,642	54.4	537,527	15.1
自動車取得税交付金	149,027	2.0	109,608	1.7	39,419	36.0
特別区交付金	1,069,740	14.3	1,008,658	15.5	61,082	6.1
交通安全対策特別交付金	18,647	0.2	16,680	0.2	1,967	11.8
分担金及び負担金	35,826	0.5	30,928	0.5	4,898	15.8
使用料及び手数料	99,768	1.3	91,747	1.4	8,021	8.7
国庫支出金	943,433	12.6	819,789	12.6	123,644	15.1
都支出金	414,979	5.5	271,207	4.1	143,772	53.0
財産収入	8,068	0.1	4,841	0.1	3,227	66.7
寄附金	301	0.0	101	0.0	200	198.0
繰越金	63,585	0.9	146,290	2.2	△82,705	△56.5
諸収入	598,340	8.0	476,603	7.3	121,737	25.5
合計	7,486,883	100	6,524,094	100	962,789	14.8

昭和45年度公益質屋事業会計予算



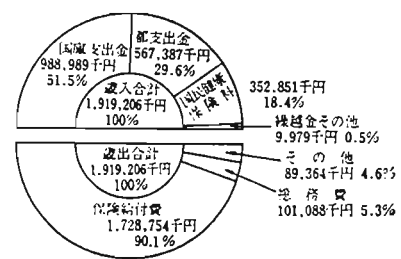
### (2) 特別会計

まず公益質屋事業会計では本年度予算3,169万1千円に対し前年度は3,707万3千円でしたので538万2千円の減額となりました。これは利用状況の低下によるものです。

また国民健康保険事業会計の本年度予算は19億1,920万6千円で前年度15億2,479万9千円と比較しますと4億1,672万7千円の増27.7%の伸率となっています。これは1人当りの費用額及び受診率の増加に伴う保険給付費の増加によるものです。

これをグラフで示しますと次のとおりです。

昭和45年度国民健康保険事業会計予算



以上によりまして、昭和44年度下半期における財政の現状と昭和45年度予算についての概要を、お知らせいたしました。

本区の財政現況は、年々増加し膨大になっておりますが、諸施策の遂行に未

は、区民の福祉向上に主眼をおき、計画的、効率的な運用に努める所存です。

今後とも区民のみなさまの、深いご理解とご協力をおねがいたします。